

集団宿泊体験が学童保育児童のコミュニケーション・スキルに及ぼす影響

中岡 美咲 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 黒澤 毅

キーワード：学童保育児童, 集団宿泊体験, コミュニケーション・スキル

1. 序論

近年, 子どものコミュニケーション・スキルの低下が問題になっている¹⁾. そのうえ, インターネットの普及に伴い, インターネットを使った文字でのコミュニケーションのやりとりがコミュニケーションの主体となり, 直接顔を合わせて話す機会の減少につながっている. また, 学童保育所に入所しているが児童同士は, 一緒に空間にいるが気の合う限られた集団でグループを作り, そのグループの中でのみ話す傾向が強いことから他者とのコミュニケーションを取ることが苦手な児童が多いと言われている³⁾. これらのことから, コミュニケーション・スキルを向上させるために, 集団で行う体験活動が重要ではないかと考えた. 集団宿泊体験については「他者との関わりの中でコミュニケーション・スキルが向上する」との報告もある. そこで本研究では, 集団宿泊体験が学童保育児童のコミュニケーション・スキルに及ぼす影響を明らかにすることを目的とする.

2. 研究方法

【調査方法】コミュニケーション・スキルを測定するために栃木県総合教育センター研究調査部²⁾のコミュニケーション能力尺度(4因子32項目)を筆者が独自に修正し用いた. また活動中に自分が主張したこと, 他者からのメッセージに対して受信できたこと, 自分の気持ちを抑えることができたことを調査するためにふりかえりシートを用いた.

【調査対象者】平成27年8月8日~9日(1泊2日)に実施したF小学校の学童保育に通っている集団宿泊体験を経験した4年生~6年生の13名(男:8名 女:5名)を実験群とした. また, F小学校で学童保育に通っていない5年生29名(男:15名 女:14名)と比較群とした.

【調査内容】筆者が独自に修正した「コミュニケーション能力尺度」を用いて集団宿泊体験前(pre), 1ヶ月後(post1), 2ヶ月後(post2)に実施した. 調査時期を表1に示した.

表1 調査時期

	pre 8月8日	集団宿泊体験中 8月8日	post1 8月30日	post2 10月初旬
実験群 コミュニケーション・スキル	○		○	○
ふりかえり		○		
比較群 コミュニケーション・スキル				●

3. 結果と考察

1) 集団宿泊体験前後におけるコミュニケーション・スキルの変化について

集団宿泊体験前から集団宿泊体験2ヶ月後に有意な差が認められた(表2). 要因として集団宿泊体験を行い, 他者とのコミュニケーションをとる機会が増えたため, 自分の意見を伝えることが苦手だ

った児童がコミュニケーションをとれるようになったことで, 自分に自信を持てるようになり, 学童保育児童のコミュニケーション・スキルに影響したと考えられる.

表2 コミュニケーション・スキルの平均と標準偏差

	pre	post1	post2	F値
実験群(N=13)		M (SD)		
コミュニケーション・スキル	87.38(9.386)	91.46 (8.12)	92.38 (8.742)	4.63 *
M: 平均 SD: 標準偏差				* p<.05

2) 実験群と比較群のコミュニケーション・スキルについて

実験群と比較群のコミュニケーション・スキルの比較を行うために, 調査時期post2にあたるコミュニケーション・スキルに差があるかを見るために対応のないt検定を行った. その結果, 実験群と比較群には1%水準の有意な差が認められた(表3). 実験群の児童の特徴として, 両親の共働きや1人親家庭が多かった. そのため家庭に帰っても, 1人で過ごすことが多く, 他者とコミュニケーションをとる機会が少ないことが影響していると考えられる. 「家に誰もいない」, 「両親が忙しいため話す時間がない」という環境で幼少期から過ごしてきたことが多い³⁾ことがコミュニケーション・スキルに影響した. そのため, 比較群よりコミュニケーション・スキルが低くなったのではないかと考える.

表3 コミュニケーション・スキル得点の平均と標準偏差

	実験群 N=13	比較群 N=29	t値
コミュニケーション・スキル得点	92.38(8.742)	97.31(11.684)	-4.97 **
			** p<.01

4. まとめ

集団宿泊体験を経験した学童保育児童の「コミュニケーション・スキル」は向上した. しかし, 幼少期から他者とコミュニケーションをとる機会が少ないと考えられる学童保育児童のコミュニケーション・スキルは, 学童保育に通っていない比較群と比べるとコミュニケーション・スキルは低かった. そこで, 集団宿泊体験を経験した学童保育児童のさらなるコミュニケーション・スキルを向上させるためには, 長期的な集団宿泊体験を行う必要があると考えられた.

引用・参考文献

- 1) 宮田 佳代子: 子どものコミュニケーション能力を高めるために今注目したい説明する力
- 2) 栃木県総合教育センター研究調査部(2007): 集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究
- 3) 全国学童保育連絡協議会: 学童保育情報 2012-2013